

「巻田純のページ」<http://www9.ocn.ne.jp/~makita/index.html> より

【獵奇的な彼女に見る韓国文化】

【電車の席を譲る】

韓国では儒教の教えにより「長幼の序」が大事にされます。電車でご老人が前に立たれたら若者はさっと席を譲ります。もっとも最近は日本と同じように席を立たない若者が増えているようです。

【お酒を飲む時は】

目上の人のお酒を飲むときは顔を横に向けて飲みます。韓国のメールフレンドが日本に遊びに来た時、居酒屋へ連れていったら彼がこの仕草をしたので「へえ、そうするんだ」と感心したのを覚えています。映画ではキョヌが彼女のお父さんの差し出した酒を飲もうとして横を向いたらお母さんが正面になったのであわてて別の方を向いたというシーンがありました。また目上の人の前で煙草は吸いません。

(追記)

この部分、韓国に2年半お住いの whitekun さんから補足説明をいただきました。以下は whitekun さんによるご説明です。

この仕種は、初対面の時にあきらかに年齢が違うとか、そんな時にしか見たことが有りません。会社でも新入社員が入社仕立ての頃よくこの仕種をします。また会社でも役員とか社長とかの前であきらかに目上の人から酒を注がれた時こうしますが、その後はめいめい勝手にやっています。「目上の人の前で」と言っても、その人から酒を注がれた時だけです。

目上の人がいってもその人から酒を注がれた時以外は、そんなことしません。

>また目上の人の前で煙草は吸いません。

これも少し？です。これも明らかに目上の人。新入社員の入社したてとか、社長がいる時とかぐらいです。常務や専務の肩書きでもそれが日本人であれば、どうしても目の前で吸います。会食の時等煙りが漂ってくるのでかないません。

【酒のつまみ】

映画の中でつまみといえばコルベンイだろうというようなやりとりがあります。このコルベンイというのは巻き貝だそうです。タニシのようなものなんでしょうか？ちなみに日本ではアットマークと言っている@を韓国ではコルベンイという事が多いようです。そういえば巻き貝に似ていますね。また日本では「まずビールで乾杯！」ということが多いですが韓国では焼酎が好まれているようです。

【地下鉄の車内販売】

ソウルや釜山で地下鉄に乗ると車内販売の人を良く見かけます。私は買ったことがありませんが、ちょっとした日用品などを売っているようです。たぶん許可をもらってやっている訳ではないと思うのですが、そんな事は「ケンチャナヨ」なんですか？

【「猟奇的な」という言葉】

「猟奇的な」という言葉は日本とは違った使われ方をします。大阪弁で言う「**けったいなやつ**」というのが割に似た感じの言葉だと思います。少し前韓国で「ヨッキトック（**猟奇ウサギ**）」というキャラクター商品が流行りましたが今でもあるのでしょうか？

【韓国のホテル】

キョヌが酔っ払った彼女をホテルに連れていきますがあのホテルはどれくらいのランクなんでしょう？私が韓国で泊る時はだいたい「旅館」です。3000円から4000円程度で泊まれるので助かります。「旅館」という名前ですが、日本のビジネスホテルのようなところですか。日本だと7000円から8000円はするので約半分の値段です。映画のホテルはこの旅館のクラスのような気がします。

【ソナギ】

劇中劇（映画中映画？）で「ソナギ」（夕立）がテーマになります。2002年の秋に日韓で放送されたテレビドラマも同じタイトルでした。この「**ソナギ**」というのは**韓国の学校の教科書にも取り上げられている小説だそうです**。私も韓国語の先生に簡単に読める韓国の小説はないですかと聞いたらこれを薦められました。それで早選手に入れたのですがまだ読んでいません。韓国の人にはすぐ読める程度の厚さしかないのですが、まだ私には早すぎたのかもしれない。

【おばさん】

キョヌに見合いをさせたがっていたおばさんですが、日本語では父方の姉妹なのか、母方の姉妹なのかわかりませんね。この映画ではコモ（ ）と呼んでいましたからお父さんの姉妹だという事がわかります。ちなみにお母さんの姉妹はイモ（ ）です。実は日本語でも伯母、叔母と漢字の使い分けがありますが、これは父方、母方の区別では無く、姉か妹の区別だそうです。また普通の（親戚関係でない）おじさん、おばさんはそれぞれ、アジョシ（ ）、アジュンマ（ ）といいます。

【オッパ】

おじさんはアジョシ（ ）ですが、お兄さんはオッパ（ ）といいます。本当のお兄さ

んはもちろんオッパ()ですが、恋人やそれに近い人もオッパ()と呼ぶので注意が必要(?)です。ただし店のお兄さんなどはあきらかに自分(女性)より年下でもアジョシ()と呼んだりするみたいです。もう一つ気をつけないといけないのがオッパは女性がお兄さんを言う時の言葉で、男性が言う場合はヒョン()です。こちらも本当の兄じゃない相手に対しても使います。その時は日本語でいう「兄貴！」という感じに似ています。ではお姉さんは？女性が言う場合はオンニ()、男性が言う場合はヌナ()です。映画では脱走兵の事を最初、アジョシと呼びかけていたけど、途中でオッパと言い直すシーンがありました。

【兵役】

韓国には徴兵制度があります。男子なら一定期間(現在は2年2ヶ月?)兵役につかないといけないのです。そのため、別れてしまう事になる恋人も多いと聞きます。映画では脱走兵が遊園地に立て籠もります。徴兵を避けるためにいろいろな手段を講じる人がいるようですが、実際に軍隊に入った後、このように脱走する人ってどれくらいいるのでしょうか？

(追記)

以下は whitekun さんによる補足説明です。

韓国では兵役の義務があります。兵隊に行った者は、それを誇りにしますが、みんな2度といきたくないと言います。新兵いじめも相当ある様です。息子には半分行かせたい(軍隊的な規律を学ばせたい)が、半分は行かせたくないという複雑な気持ちがあるようです。母親の方は単純で兵隊には行かせたくないというのが、ほとんどです。北朝鮮がいますから、本当に死ぬかも知れないし、

兵役を逃れるためには、国指定の研究機関などに入る手があります。例えばスーパーコンピュータ(弾道計算に使える)研究所とか、一般の会社でも国益につながるもの、例えば画像処理とか画像圧縮とか会社の利益、ひいては国の税収に繋がるような物は、研究所に所属する研究員になっていれば、兵役免除になります。ところが宴会等で話が盛り上がると、どうも軍隊時代の話に必ずなるようです。兵役免除の者は、話に加われず寂しい思いをするそうです。

もう一つは、国籍を他の国にすることです。よくやる手なのですが、アメリカに留学させてその国で博士号を取らせ、アメリカの会社に何年か就職させて市民権を取ってしまうのです。徴兵適年齢の時に海外で博士号などを勉強しているという、どうも兵役延長だかなんだか詳しく分かりませんが、兵隊に行かなくて済む様です。

【オンドル房】

キョヌが彼女を運びこんだホテルでホテルの人から「**寝台房(パン)にしますか？オンドル房にしますか？**」ときかれます。寝台房というのはベッドがある部屋で、オンドル房というのは床がオンドルになっている部屋です。冬はこのオンドルが熱すぎるほどらしいです。一度冬にオンドル房に泊ってみたいです。

この房という字は部屋という意味で日本で言う"インターネットカフェ"は韓国ではPC房といえます。他にビデオ房(DVD房)などというのもあります。

【皺押し棒(砧)】

キョヌが家に帰るとお母さんが何か棒で洗濯物を(?)たたいているシーンがあります。他の韓国映画で同様のシーンを見た事があり、それはアイロン代わりに洗濯物をたたいているのでした。ただし、そちらは時代背景が古いので「**猟奇的な彼女**」のこのシーンがそれと同じかどうかわかりません。やはりアイロン代わりに今でもそうしている人がいるのでしょうか？

(追記)

司 真琴さんがこれは砧だと教えてくれました。それでインターネットで調べてみると写真入りで出ていました。「消えた名物」とありますから、やはり現在では使われていないようです。

【アガシ】

キョヌが「彼女」とは知らずにナンパしようとして彼女を追いかけ、その時にかけた言葉です。アガシというのは直訳すれば「お嬢さん」ですが実際に使われる場面で微妙に意味が違ってきます。韓国映画でこの言葉が印象に残っているのは上のシーンと「我が心のオルガン」の一場面です。

「我が心のオルガン」では赴任してきた新任教師のイ・ビョンホンが主人公のチョン・ドヨンに小学校の場所を聞こうと「アガシ」と呼びかけ、それを聞いたチョン・ドヨンが「アガシって言ってくれた」と心の中で喜ぶシーンです。食堂などで女の人を呼ぶ時に若い人ならアガシでオバさんならアジュンマというのが一般的な所でしょうか。

【延世大学】

彼女とキョヌが靴を取り替えて追いかけっこをするのは**延世大学のキャンパス**ですが、24点という点数しか取れない彼がなぜこの大学に入れたのか不思議です。

日本は学歴社会だと言われますが、韓国はそれ以上に学歴社会です。受験生が勉強するのは日本よりもっと長時間で、夜も学校で補習授業が行われると聞きました。これは科挙を受かった文人達を重んじてきた昔からあまり変わっていないのかもしれない。

(追記)

以下は whitekun さんによるご説明です。

韓国はとにかく異様です。徴兵逃れもありますけど、とにかく社会そのものが博士をありがたがる、ソウル大学（韓国の東大）卒をあがめ奉る傾向が極端です。日本では、東大出ても実社会で役に立たない者は大勢いるという感覚ですが、韓国ではあの人はソウル大学卒なので役員候補だとか言われます。誰もが認める仕事ができない人なのに、ソウル大学卒だと役員候補なのだそうです。社会の仕組みがこうなっていれば、親は全財産投げ打ってでも子供に勉強させます。

【体罰】

悪い成績で帰ってきたキョヌが体罰を受けます。また留置場でも先輩から体罰を受けます。日本では学校での体罰が明らかになると PTA が大騒ぎをして大変ですが、韓国では割に当然の事にされているようです。去年だったか、学校で体罰に用いる棒を法律で制限したというので、やはり韓国でも体罰は受け入れられなくなったかと思って記事を良く読んでみたら体罰そのものは OK で棒のサイズやたたき方などを制限したものでした。

ご質問はこちらへどうぞ makita@gamma.ocn.ne.jp

[\[back\]](#) [\[home\]](#) [\[next\]](#)

【山歩き】

「彼女」がキョヌに「ミアネヨ（ごめんね）」と叫んだのは釜山から少し離れた五峰山だそうです。

韓国には山歩きを好む人が多いと聞きます。でもあんな離れた山のとっぺんに登り直すなんて大変ですね。ちなみにこの山はタイムカプセルを埋めた所とは違って、そちらは江原道にある白雲農場という所だそうです。この映画以来名所になって多くのカップルがタイムカプセルを埋めに来るとか。

【数え方】

日本ではイチ、二、サン、シという数え方とヒトツ、フタツ、ミッツという数え方があります。

韓国でも同様にイル、イ、サム、サーという数え方とハナ、トゥル、セ、ネという数え方の二つがあります。

キョヌが写真館で写真を撮られる時の合図はハナ、トゥル、(セ)ですね。また時間もこちらの数え方をします。私がソウルに遊びに行った時、電話で待ち合わせの約束をしたんですが、ちゃんと覚えていなかったのが 2 時間、間違えた事があります。この映画に出てくる五つ子という言い方もイル、イ、サムじゃなくてハナ、トゥル、セの方の数え方です。エンドロールでタソッサンドウンイと出ていました。

【漢字語】

韓国も中国から文化影響を非常に大きく受けています。そのためハングルが発明されるまでは漢文が使われていました。当然漢字が元になった言葉が多く残っている訳です。

「猟奇的な彼女」の映画の中でもいくつも発見できます。ごく一部ですが書いてみます。

猟奇的	yeop-ki-jeok	
写真	sa-jin	
老人	no-in	
旅館	yeo-gwan	
警察	kyeong-chal	
援助交際		won-jo-gyo-je
出席	chul-seok	
全自動	jeon-ja-dong	
秘密	pi-mil	
運命	un-myeong	
努力	no-ryeok	
未来	mi-rae	

【手を添える】

韓国では、握手したり、何かを手渡す時、またお酒を注ぐ時、目上の人に対しては手を添えます。(手を添える代わりに胸に手を当てることもあります。)

儒教の精神で目上の人を敬う心をこのような形にしているんですね。

映画ではキョヌが「彼女」の見合い相手と握手する時に手を添えていました。

【地下鉄は右側通行】

日本では地下鉄は左側通行ですが韓国では基本的に右側通行です。もう一度見る機会があれば地下鉄のシーンも注意してご覧ください。(ただし1号線は左側通行)

ホームが両側にある駅では改札を通る時、日本での感覚でいくと反対側に行ってしまうのでご注意ください。

また各駅固有の番号が付いていて駅名表示と共にその数字も書かれているので出かける前に、乗り降りする駅の番号を確認しておけば聞き慣れない駅名アナウンスであっても数字で駅を間違えずに済ませることができます。

それにしても韓国の地下鉄の値段って安いですね。かなり遠いところまで乗っても600ウォン(60円)で済んでしまうのがありがたいです。というより日本の地下鉄が

高すぎるのか。

(注)2003年7月にソウルへ行った時は1区700ウォンに値上がりしていました。

【土まんじゅう】

ソナギは原作では女の子が死ぬ前に「私が死んだらこの服も一緒に葬って欲しい」と言って亡くなりますが、劇中劇では「好きだった人を一緒に生き埋めにして欲しい」とかなり変えられてます。それでキョヌが埋められることになります。その後、土まんじゅうが盛られてます。これは土葬だから成り立つ話ですね。

韓国では土葬が多いそうです。魂は戻って来られるようにという儒教的な世界観からそうしているみたいです。今まで見た韓国映画や韓国のドラマではそういった背景から主人公が土まんじゅうに向う場面が多かったです。でも土葬だと広い土地が必要になるので政府は火葬を奨励しています。

火葬場のシーンがあった「8月のクリスマス」は私の見た映画では珍しい方でしょう。

ご質問はこちらへどうぞ makita@gamma.ocn.ne.jp

[\[back\]](#) [\[home\]](#) [\[next\]](#)

【ため口】

韓国では親しい友達や年下の人に対してはパンマル()を使います。日本語で言うと「ため口」に近い言葉です。ところがこの映画では「彼女」が最初からキョヌにため口を聞いています。だからキョヌはホテルで彼女の学生証を見て自分より年下だと確認した後で文句を言うのですが、彼女に「だったらお前もそうしろ」と言われてしまいます。一方、酒場で援助交際をしているオヤジに対して彼女は「どうしてタメ口を聞く?」と怒るので訳がわかりませんね。

一般的に最初会った人どうしでは丁寧な話し方をするのですが親しくなってくると、いつまでもそんな話し方では「水くさい」と思われるようです。「パンマル」で話せる仲になったというのは親しくなったという事でしょう。

【敬語】

儒教の教えが強く残っている韓国では日本以上に敬語を良く使います。ただ日本と違うのは絶対的な関係で敬語を使用するという事です。例えば日本では「ただいま社長は出かけております」という風に身内に対しては敬語を使いませんが、韓国では直訳すれば「社長様は出かけていらっしゃいます」といった話し方になるんです。映画の最初の頃のキョヌの独白でも「(ご両親様は)」という話し方をしています。日本語字幕にする時は「両親は」としないとおかしくなります。

【ブデチゲ】

キョヌの除隊祝いで友達と集まった店、そして知らずに「彼女」をナンパしようと飛び出した時に友達と一緒に居た店は**ブデチゲの店**です。

日本で韓国と言えば「キムチ」と「焼き肉」を思い浮かべる人が多いです。確かに「キムチ」は欠かすことはできませんが、おいしい韓国料理といえば他にも沢山あります。キョヌが「彼女」の家で持ち物検査をされた時に持っていたライターの出所をごまかす時に言い訳に使った「蔘鶏湯(サムゲタン)」や日本でも流行った「タッカルビ」は知っている人も多いと思いますが、この「**ブデ(部隊)チゲ**」というのも人気のある料理です。朝鮮戦争時に米軍からもらったハムやソーセージで、鍋を作って食べたのが始まりと言われています。(インスタント)ラーメンも入れ、ボリュームたっぷりで安い庶民的な料理です(といいながら私はブデチゲ屋さんで食べたことはありませんが)。

ご質問はこちらへどうぞ makita@gamma.ocn.ne.jp

[\[back\]](#) [\[home\]](#) [\[next\]](#)

【ヘジャンク】

キョヌが留置場を出てから「彼女」に食べさせてもらっていたのが「**ヘジャンク**」です。すごくおいしそうに食べていましたね。ヘジャンは漢字で書くと「解腸」で、胃腸を解きほぐすという意味らしいです。二日酔いにいいとされます。牛の血を固めたものが入っていて苦手な人がいるかも知れません。私は釜山とソウルで何度か食べましたが、地方の違いか、店の違いか、かなり異なったものが出てきました。どちらもおいしかったです。

【ネット事情】

この映画の原作はインターネット上で公開された話が元になっています。韓国では国が力を入れている事もありインターネット人口は非常に多いようです。高速通信環境も日本より早くから整備されています。最近の韓国映画では e-mail のやりとりをする場面が良く見られます。

私がうらやましいのが PC 房が沢山ある事です。これはいわゆるインターネットカフェに当たるもので、1 時間当たり 1000 ウォン(約 100 円)程度でインターネットのホームページを見たり、メールをやりとりしたりできます。たいてい深夜もオープンしているのでホテルを見つけ損なったら PC 房で過ごすという事もできそうです。日本から旅行に来た時もメールのチェックなどする時に非常に便利です。もちろん基本は韓国語ですが少しだけ操作をすれば日本語の読み書きもできるので皆さんもぜひ利用してみてください。PC 房で日本語を使う方法は私のホームページで紹介しています。

<http://www9.ocn.ne.jp/~makita/pcban.html>

【外来語】

キョヌがバスキンロピンス(31 アイスクリーム)で何を注文するか悩みます。その中で「ロブミ」、「チェリージュブレ」などの外来語を口にします。「ロブミ」は字幕で「ラブミー」とあるからちゃんと日本語英語の「ラブミー」と違和感を感じずに聞けます。ところが一般的に言って韓国の外来語の発音は日本のそれと大きく異なります。私が聞い

た次の3つの発音はカタカナ英語で育った人にはかなりわかりにくいのではないで
しょうか？

ヘンボゴ

メガド

トギル

これらはカタカナ英語だとうなります。

ハンバーガー

マッカーサー

ドイツ

(補足)

司 真琴さんからトギルはドイツの漢字「独逸」を韓国語発音で読んだものだから
むしろ漢字語といった方がいいかもしれないというご指摘がありました。

確かに原語の発音を聞き取ったものをハングルに当てはめたものではないので、
ここでの例としては適切でないかもしれません。

他に「ネタばれ OK! 猟奇的な彼女掲示板」で話題が出た「ハッピートゥギャザー」
も「ヘピトゥゲド」()のように発音されます。

ご質問はこちらへどうぞ makita@gamma.ocn.ne.jp

[\[back\]](#) [\[home\]](#) [\[next\]](#)

【混ぜる】

「酒のつまみ」の所でてきたコルベンイを、2003年7月にソウルへ行った時に食べて
きました。巻き貝と野菜のサラダのようなものが、横に素麺を添えて出てきます。

これをそのまま食べてはいけません。必ず原型がわからない位に混ぜてください。
旅行に行く前にも韓国料理店でコルベンイを食べたのですが、その時混ぜずに食べて
いると店の人がやってきて「これはこうして食べるのがおいしいのよ」と言って箸で
しっかり混ぜてくれました。混ぜないで食べているのが見ていられなかったようです。
韓国の人はこの「混ぜる」食べ方が大好きです。代表的なのはピビンパで、これは
名前()そのものが「混ぜご飯」です。

【包む】

韓国の食べ方で「混ぜる」を取り上げたら、もう一つの「包む」食べ方も忘れる訳には
いきません。サムギョプサルなどを食べる時は肉をそのまま食わずに、サンチェヤ
ゴマの葉で包んで一口で食べます。

3,4年前にソウルへ行った時に知り合った人(日本語を勉強していた)と「しゃぶしゃぶ」
の店に行った事があります。その時、彼女が「食べ方を教えてあげる」というので、
「しゃぶしゃぶ」なら、私の方が食べ方を教えられるのに、と思いました。

しかし、実際に聞いてみると、日本とは食べ方が違っていたのです。やはり野菜が置いてあり、それでくるんで食べるんです。韓国料理は「混ぜて」食べたり、「包んで」食べたりした方がおいしく食べられるかもしれません。